

病診連携ニュース

ねっ とわーく

Net Work

2023年冬号 No.79





PROFILE

釧路赤十字病院 院長
 近江 亮 Omi Makoto

昭和63年 北大卒。
 日本外科学会外科専門医 / 日本消化器外科学会認定医 / 日本消化器病学会消化器病専門医 / 日本胸部外科学会認定医(食道) / ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター / 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 / 検診マンモグラフィ読影認定医 / 日本乳癌学会乳腺認定医 / 日本膵臓学会認定指導医

年頭のご挨拶

地域に愛され必要とされる病院であること
 働きやすい風通しの良い職場を職員に提供すること

より連携をシームレスに

ここ数年コロナ禍が全世界を覆い尽くしてまいりました。日本においても年末に第8波が到来し多数の感染者を出しました。しかし、徐々にwithコロナに向けての動きが出てきております。当院も、そろそろ通常診療の充実を考えていかなければならないと考えております。

私は昨年の4月に院長に就任いたしました。その所信表明の中で当院の目標として「地域に愛され必要とされる病院であること」「働きやすい風通しの良い職場を職員に提供すること」を掲げさせていただきます。

まだ始まったばかりですが、地域に愛される病院とするため、具体的に入退院支援、地域連携、訪問看護、患者相談などを一カ所に配置しシームレスに行える「患者支援センター」といったものを作る準備を進めております。よりスムーズな入院、退院。そして退院後の訪問看護、診療といったバックアップ体制の拡充を進めてまいります。現在は「かかりつけ医」⇄「急性期」⇄「回復期」⇄「慢性期」と

いった流れがありますが、どこからでもスムーズにご相談に応じられるシステムを作りたいと思っております。なかなか厳しい病院経営となっておりますが、インフラ整備を含め更なる業務、サービスの質の改善に努めてまいります。

職員の意識と環境づくり

組織としての話をしてきましたが、実際に患者さんに優しい愛される病院とは、患者さんにとっては病院そのものではなく、最終的には患者さんに向き合う職員一人一人がどのように接するかにかかっています。患者さんに向き合う職員の意識の向上が最重要であり教育、育成に取り組みなくてはならないと思っております。

いろいろなシステムを作ったとしても実際に運用するのは「人」です。働きやすい風通しの良い職場を職員に提供することににより人材を確保し、次世代に続く教育、啓蒙を各部門で自ら行える環境づくりを目指します。

気持ちの良い病院

また、今後は働き方改革もあり否が応でも業務体制を変えていかなければならない部分が出てくると思います。当院も組織はおおむね縦割りとなっておりますが、可能な限り横串を入れて組織交流を進めてまいります。各部門のマンパワーなどバランスを考えながら、タスクシフトも進めていかななくてはなりません。また現在社会で大きな問題となっているハラスメントの撲滅を目指し個々の職員が尊重される職場にしたいと思っております。意見交換、相互理解が行われる働きやすい環境を作り、職員が一体となりより機能的で効率よく動ける病院としたいと思っております。病院内だけではなく病院外からも、ぜひ当院に関するご意見がありましたらお寄せいただき、それらに対し真摯に対応し改善を加えていきたいと考えております。

患者さんや周囲の医療機関の皆さんに「気持ちの良い病院」と思っていただけけるよう務めます。皆様におかれましては今後ともご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

静脈内鎮静法ってなんだろう

皆様方の中で歯科治療が苦手という方はいらっしゃいませんか？



歯科医院を受診した際に何が嫌でしょうか。歯科医院特有の臭い、局所麻酔や治療による痛み、歯を削る際に生じる「キーン」という音や振動、水が口の中にたまってうまく呼吸ができない等々・・・いずれにしても、緊張して手に汗がびっしょりという経験は誰でもしたことがあると思います。緊張が強いと呼吸が速くなり、心臓がドキドキするといった身体症状や、不安感が強くなって気分がすぐれない等は正常な反応ですが、さらに緊張が強くなり、そこに痛みなどの刺激が加わると、徐脈と血圧低下を生じること

があります。これに伴い顔面蒼白、冷汗、疲弊感、嘔気・嘔吐や脳血流量減少による失神などが認められることがあります。

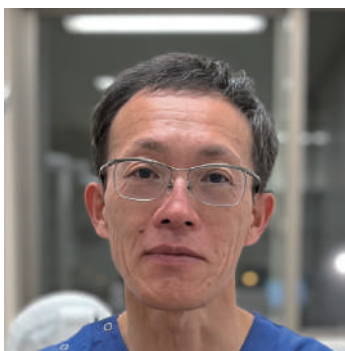
これは、血管迷走神経反射と呼ばれるもので、多くの場合、酸素投与と水平位での安静で15分ほど様子をみると回復します。この時、下肢の挙上もある程度の効果は期待できると言われています。よく局所麻酔時の疼痛を契機に発症することから、問診で患者さんが「麻酔薬でアレルギーを起こした」とおっしゃることがあるのですが、よくよくお話を伺ってみると血管迷走神経反射であることがよくあります。

血管迷走神経反射の原因とは

痛みや不安・恐怖、長時間の座位、高温、疲労や睡眠不足などの精神的・肉体的ストレスが挙げられます。これらを治療時にすべてなくすることは不可能ですが、治療前に先生から治療内容をしっかりと話してもらうことで不安は軽減します。さらに恐怖心や不安・緊張感を最小限に抑え、快適かつ安全に治療を行えるように、薬物を使用するよりも効果的です。これは静脈内鎮静法と言われるもので、全身麻酔と違い意識があり、生体の防御反応や反射が

維持されているため安全性が高いと言われています。また使用薬剤によっては健忘効果も期待できるため、個人差があります。手術中の記憶があまりないこともメリットの一つです。もちろん、意識下で行いますので局所麻酔は必要ですし、病変が大きい場合や長時間の処置、あるいは多量の注水を伴うタービン等を使用した歯科処置等は適応になりませんが、親知らずの抜歯等のいわゆる小手術には最適の方法です。当科では親知らずの抜歯で下顎の水平埋伏歯1本、もしくは上下2本の抜歯を静脈内鎮静法で行う場合は、基本的には当日の午前中に入院し午後から手術、翌日の午前中に退院としています。入院にあたっては、あらかじめ術前検査として、血液検査、尿検査と心電図検査を行って、安全に行えるようになっています。また術中は心電図の他に、薬剤により呼吸抑制を生じることがあるため、酸素化もモニターして行っています。

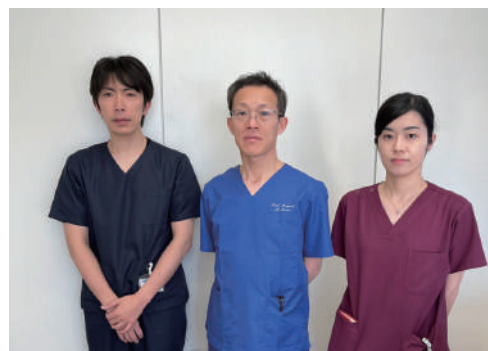
歯を抜かなければいけなくなった、嚢胞をとらなければいけないと言われるけれど、心配だなーという方は是非一度御相談下さい。



PROFILE

歯科口腔外科部長
 道念 正樹
 Donen Masaki

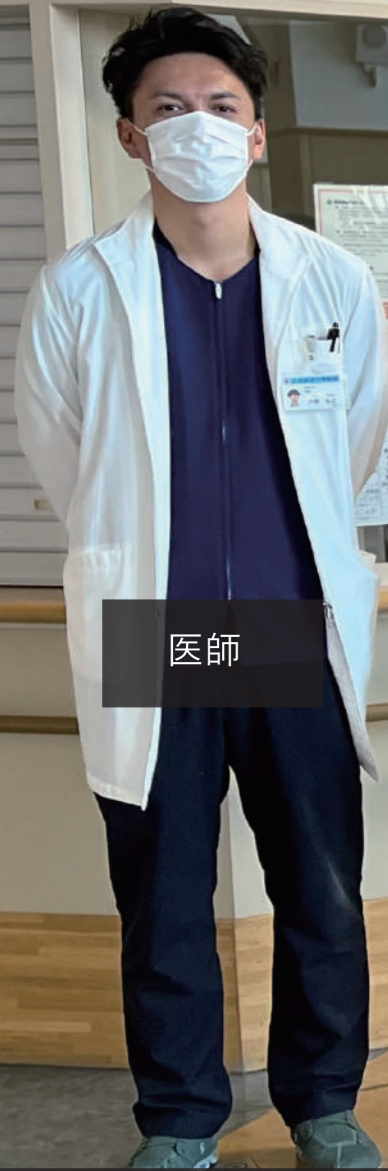
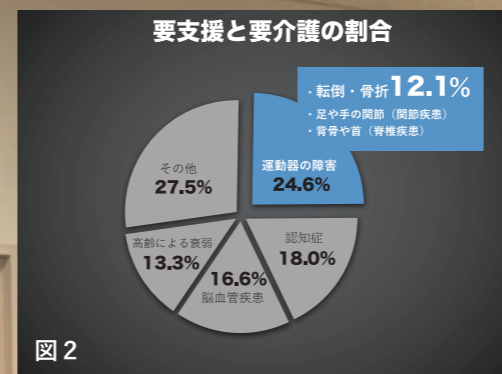
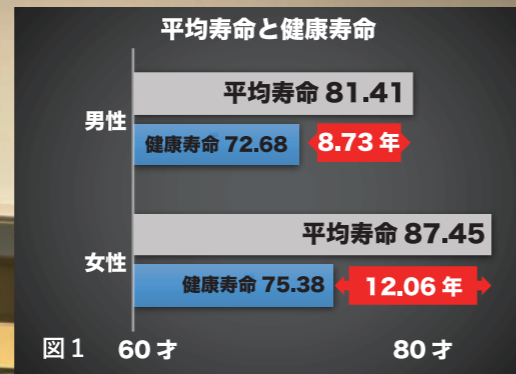
平成6年 北大卒。
 日本口腔外科学会専門医・
 指導医 / 臨床研修指導歯
 科医 / 日本救急医学会認
 定 I C L S インスストラク
 ター / I C L S 北海道認定
 インストラクター



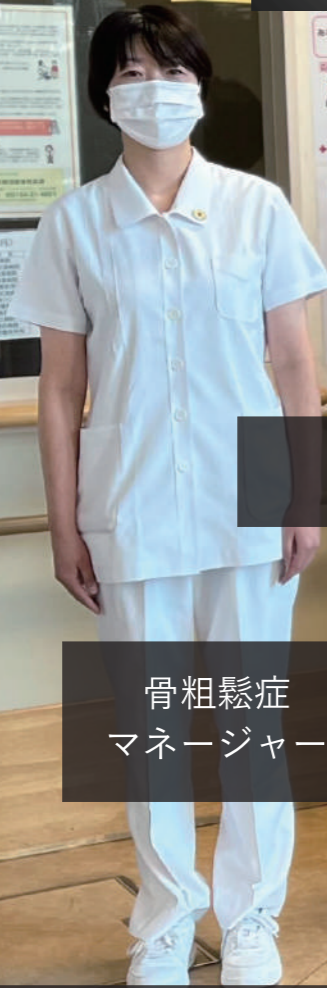
歯科口腔外科医師 左・篠原副部長
 中央・道念部長 右・森谷副部長

骨粗鬆症に対する当院の取組み

- 合言葉は「2回目の骨折をさせない」 -



医師

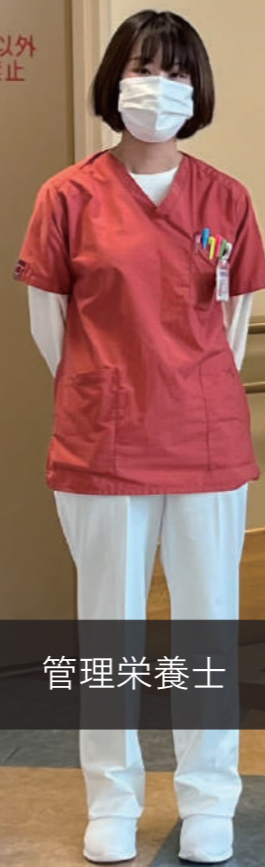


骨粗鬆症
マネージャー



看護師

関係者以外
立入禁止



管理栄養士



看護師

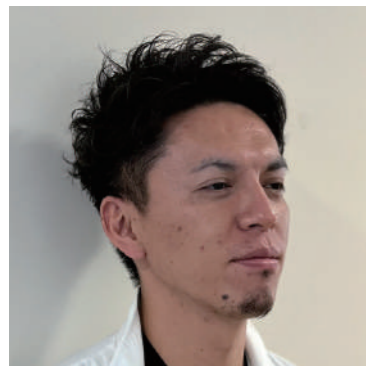


放射線技師



薬剤師

※FLS チームメンバー（他、理学療法士、検査技師、事務）



PROFILE

第一整形外科部長
 小路 弘晃
 Syoji Hiroaki

平成21年 札幌医科大学 卒。
 整形外科専門医 / 日本スポーツ協会公認スポーツドクター / 日本整形外科学会認定スポーツ医 / 日本人工関節学会認定医 / 北海道サッカー協会医学委員

日本の高齢者人口の割合は今後も増加すると考えられており、2040年には全人口の35%、3人に1人以上が65歳以上になると見込まれています。平均寿命は男女共に80歳を超えましたが、一方で健康に過ごすことができる健康寿命は70歳代と言われています（図1）。この健康寿命を引き上げ平均寿命に近づけることで、生活の質を保ち、介護などの家族の負担を減らすことができます。一方で要介護・要支援となってしまうかの割合は運動器によるものが最も多く、そのうち約半数が骨折や転倒によるものとなっています（図2）。ですので、この骨折や転倒を予防することが、健康寿命を引き上げることにつながると考えています。

骨粗鬆症という病名をご存知でしょうか。骨粗鬆症とは骨の量が減って骨が弱くなり、骨折しやすくなってしまう病気のことです。特に高齢の女性ではホルモンバランスが変化し、骨吸収（古くなった骨を壊すこと）と骨形成（新しく骨を作ること）のバランスが崩れることによって、骨粗鬆症が起りやすくなります。骨密度検査などを行うことによって比較的簡単に診断することが出来ます。骨粗鬆症の治療は運動、食事、薬物治療からなります。整形外科外来では主に薬物治療を中心に行なっていますが、治療薬には内服や注射など様々な種類があり、また投与間隔も毎日製剤、週1回製剤、月1回製剤、半年に1回製剤などがあります。骨粗鬆症治療は長期にわたり継続することが重要ですので、個人個人の骨粗鬆症の状態やニーズに応じて適切かつ継続しやすい治療薬を決めていきます。

骨粗鬆症を背景とした骨折を脆弱性骨折と呼び、大腿骨骨折や腰の骨折（圧迫骨折）、手首や肩の骨折が含まれます。脆弱性骨折はおよそ8割が立った高さからの転倒という軽微な外傷で起こり、移動能力や活動性が低下し、死亡率が上昇してしまいます。また一度脆弱性骨折を起してしまうと脆弱性骨折を続けて起こしてしまう（二次性骨折）確率が高くなることから、脆弱性骨折を予防していくことが重要となります。

残念ながら脆弱性骨折を起してしまった場合、特に大腿骨骨折ではほとんどの場合に入院と手術治療が必要となります。そのような患者さんが二次性骨折を起してしまうことを防ぐため、当院では新たに骨折リエゾンチーム（FLSチーム）を立ち上げました。合言葉は「2回目の骨折をさせない」です。医師や看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、放射線技師など複数の職種がチームメンバーに入り、転倒予防や骨粗鬆症治療継続のための取り組みを行なっています。また病院内だけでなく、他の病院やクリニック、施設などとも連携をとり、骨粗鬆症の治療率および治療継続率の向上を目指しています。

骨粗鬆症では骨折を起こさない限りは通常痛みはありません。ですので、脆弱性骨折を防ぎ生活の質を保つためには、早期発見ならびに治療開始が重要となります。これまで骨密度検査を受けたことがない方や、気になる方がおりましたら、お気軽に整形外科外来にご相談いただければと思います。



連携医療機関のご紹介

くどう歯科医院

PROFILE

くどう歯科医院
院長 工藤康則 先生
Kudo Yasunori

北海道札幌市東区南一条二丁目1番1号
北海道歯科大学歯学部附属歯科
札幌市東区南一条二丁目1番1号
札幌市東区南一条二丁目1番1号
札幌市東区南一条二丁目1番1号
札幌市東区南一条二丁目1番1号

開院の経緯を教えてください

そろそろ開業を考えていた時に、知り合いに釧路のこの土地を紹介して貰いました。たまたま妻が釧路出身で、よこちよこ来ていたこともあり、まったく知らない土地では無かったのと、実際土地を見に来た時の印象が何となく良かった。当時はウチを含めて3軒くらいしか建物がなく、その日は快晴で広い原っぱが、なんだかとても気持ち良かった。それで割と軽い気持ちで開業先を決めてしまった。当時札幌にいた両親も妻もあまり賛成ではなかったようだったが、その後全面的に応援してくれとても感謝しています。そして釧路で平成2年5月の連休明けに開業しました。気が付くともう32年経ちますね。

医院の理念・方針は？

最初は日之出歯科診療所で行っていたような当時の最先端医療を釧路でもやりたいと思っていました。開業と同時に沢山の患者さんが来てくれたのは良かったのですが、待合室が全部埋まってしまう、外にも補助椅子を出すなど大変混雑し、患者さんを長い時間お待たせしていました。当時この地域は歯科衛生士の意識が低く、教科書でしか見たことがない虫歯だらけの子も達が多く来て、神経を途中で切断してセメントで埋めて埋めて何とかご飯を食べられるように治療したり、衛生教育をするのに精一杯でした。そのころ紹介する口腔外科の病院もわからず埋伏智歯の抜歯等の手術も全て自分でやりました。その状態が10年位続いて、とにかく忙しすぎて開業当時の夢はずぐに無くなりましたね（笑）。高齢者の入れ歯の人も多く

て、とても勉強になりました。ものすごい数の症例をこなせたので。

貴院の取り組みや今後の予定などは？

もう69歳にもなるので、そろそろまじめに入らないといけないのかなと思います。僕のところに来る患者さんは、子どもの時から通っている患者が多く、その患者さんが大人になって結婚して子どもを産んで、その子をまた診て、また結婚して…。今はそういう人達の生活を支援

プライベートでされていることは？

ずっと習っているのはギター（10年くらい）。あとは韓国語。あまり上手くならないけど（笑）。韓国語は、北朝鮮の船が北海道に漂流するニュースを観て、ハングル文字はどうやって読むのかと思ってネットで調べたら、ローマ字に似ていて、（意外と）読めるのかなと思ってはじめました。たまたま近くに韓国人の先生がやっている教室があって、コーヒーを飲みに行っていたついでに立ち寄って、もう4年くらいになるかな。ボケ防止で（笑）。全然違う世界の人と話をするのが楽しみです。疲れて面倒くさいなと思っても、まだやれるぞと自分に言い聞かせながら。

世代を超えて人気の歯科医院ですね。

こんなに地元に着ると思わなかった。昔は釧路町に歯科医院が2軒しかなくて、学校歯科健診も全てやっていたいました。お礼に大根をもらったり（笑）。今は歯科医院も増えてお任せしています。が、当時は小さいコミュニケーションが出来たりと、とても楽しかった。父が転勤族だったので、こんなに長く同じ土地に居ることも無かったです。

釧路の魅力は？

みんなすぐく人当たりが良く、優しい。良い人ばかりです。見た目は怖そうな人でも、秋刀魚を持って来てくれたり。あと、食べ物が抜群に美味しい。東京から友達が出来た時も、海鮮物が新鮮でとても美味しいと喜んでくれる。食べ物は日本一だと思っています。釧路をとて地域だけでなく人生をかけて貢献できたことが良かったと思っています。

エピソードの節々に暖かなお人柄を感じる工藤院長でした。

患者さんの年齢層は？

50歳以上が7割くらい。子どもは1割程度。最年長は99歳で、けっこう90代が通院してくれています。中には美原から歩いて来る人も。先日90代になっても黒い部分が気になるってホワイトニングの相談をされて、歳相応だから大丈夫だよって返答して患者さんと一緒に笑いました。すごい、大したものだ！って思いました。

（将）井のさし

くどう歯科医院
住所：釧路町北都 2-5-18
電話：0154-37-4618
FAX：0154-37-6034
診療時間
月～金 9:00～18:00
土 9:00～12:00
休診：日（土は不定休）



糖尿病教室

え？ 歯周病って糖尿病にも
 影響するの！？ で、運動は？

PROFILE

理学療法係長
 鈴木 晃太
 Suzumura Kota

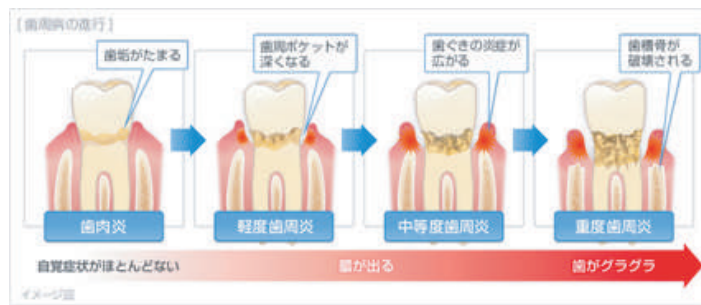
with 釧路赤十字病院
 糖尿病研究会

日本理学療法士協会認定
 運動器理学療法士

運動の効果は 最大の高コスパ薬

「歯周病」という病気がご存知でしょうか？その名の通り歯の周りの歯ぐきの病気で、歯と歯ぐきの境目に磨き残したプラーク（歯垢）と呼ばれる菌に付着した細菌の塊りが、歯ぐきに炎症を引き起こさせる「炎症性疾患」であり、病状悪化にて歯ぐきや歯を支える「歯槽骨」を溶かしてしまう恐ろしい「病気」です。日常的に歯磨きをしているから歯周病にはならないだろう・・・と思われがちですが、歯周病の程度の低いものも含めると「国民の約8割が歯周病」とも謳われています。2017年に厚生省が調査した結果によると「歯肉炎及び歯周疾患」の総患者数は約398万人だったようで「国民の約0・3割が歯周病」という結果に落ち着いておりますが、いずれにしても軽症を含める様な検査を用いる調査となると、多くの国民が歯周病と関連付けられてしまう様な、または歯周病予備的な状態にはあるかもしれない状況なようです。この歯周病の悪化により歯周組織から炎症性物質が

分泌されるようになり、これが血糖降下作用のインスリンの働きを抑制・低下させ、血糖コントロールを悪化させてしまう要因に成りえる様です。血糖値が高い状態で推移してしまうと免疫機能も低下、炎症改善が遅



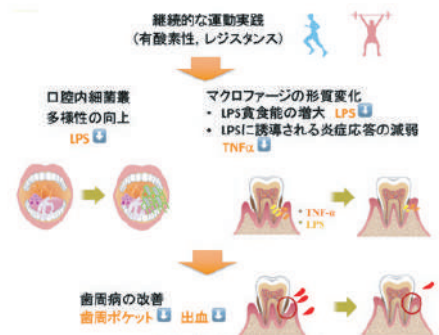
延してしまい、結果として歯周病の進行にも一役買ってしまうかもしれない、ということでも悪循環に陥ってしまう可能性も持っております。「糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン」においても、糖尿病と歯周病の関係性の高さ、いずれかの

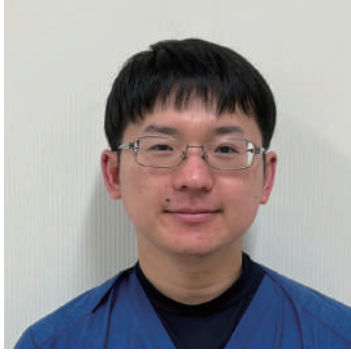
治療による相乗的な効果や治療成績は「治療として推奨される」ものとして捉えられております。英国のイーストマン歯科医学研究所の2018年の研究報告によると、「歯周病の積極的な治療を受けた患者は、HbA1cが平均して0・6%、より低下していた」そうで、一方で歯周病と糖尿病の密接な関連性が見出されています。なので、歯や口腔内の状態をより良く保つことは、糖尿病の悪化予防に一役買うことは間違いなさそうです。

では、運動とそれらが関連するの？という話なのですが、筑波大学が2021年に報告した「運動はNAFLDを随伴する日本人男性の口腔内細菌叢と唾液成分の異常を改善する」という論文の中で、歯周病と診断されたNAFLD（非アルコール性脂肪性肝疾患）の中年肥満男性49名に3ヵ月間、講義・レジスタンス運動・有酸素運動を1回90分間、週3回行うプログラムを12週間実施した結果、運動を実施した群で「TnF-αや「PSなどといった各種炎症性物質や歯周炎に関するラクトフェリンの濃度が減ったことが示されています。また、口腔内の細菌多



様性も変化させ、糖尿病や歯周病に関連する「プレボテラ」と呼ばれるグラム陰性桿菌の減少も認めたそうです。運動の効果にはまだまだ未知な要素が多く残っている反面、健康を保つための一助となることは誰でも知られていることでもあります。糖尿病にも歯周病にも、その他内科疾患や関節痛疾患も用法容量を間違わなければ「最大の薬」で「高コスパの薬」と成りえるかもしれません。





子どもの悩み、家族の悩みで 終わらせない。

PROFILE

心理判定員
 (臨床心理士・公認心理師)
 伊藤 友二
 Ito Yuji

釧路生まれ、伊達育ち。室蘭の高校、札幌の教育大学、医療大学大学院を卒業。小学校教員免許と心理士の資格を持ち、生まれ故郷に帰る。

不登校の理由も様々 スクールカウンセラーができること

コロナ禍という実情

文部科学省が2年おきに公表している「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」が

2022年10月27日に公表されました。その中では、全国的に小中学校の不登校(年間30日以上)の欠席)は前回から25%増の約24万4940人となり、過去30年の中で最多となっています。この不登校児童生徒の急激な増加の要因として、コロナ禍での生活の乱れや特別活動(運動会、遠足、修学旅行等)が行えず、人間関係構築の場が少なくなった事や休校やオンライン授業の影響があるとされています。不登校は、もちろんコロナによる影響もあると思われいますが、元々の子ども達が抱えている問題(友達関係の困難さ、学校における先生や他学年との関係性、学力的問題、家庭の事情、発達障害傾向、性格傾向等)もあるという事

を見過ごす訳にはいきません。実際に、小児科で身体的な症状を訴え受診をしてくる子ども達の中には、学校生活の困難さや家庭の中での不適応感、他にも発達障害の傾向を抱えている子どももいます。そういった課題を抱えながら、病院受診へ繋がっていないケースも多く、本人や保護者、学校関係者の支援を目的に、令和4年4月よりスクールカウンセラー(以下、SC)の活動を始めました。

子ども達のカウンセリ ングだけでなく

SCは、子ども達に対する相談や助言、保護者や教職員に対する助言、学校場面における研修や講話、事件や事故などの緊急対応時の被害児童生徒の心のケア等を行い、教職員とはまた別の専門性を持ち、子ども達へのカウンセリ
ングだけでなく、仲立ち的な

役割を果たします。

私に対応させて頂いた相談の中では、「対人関係で問題が生じ、クラスに行きにくい」「過呼吸症状が出てしまい困っている」「自傷行為をしよう」等があり、「こんな相談をどこにしたいのかわからなかった」という方もいました。困っているのに、誰にどう相談すればいいのか、そもそも相談して良いものかと迷い、諦めてしまうのは辛い事です。

釧路地域は全小中学校 に配置

SCは誰の味方という訳ではなく、子ども達の、保護者の、教職員の味方です。釧路地域では小中学校全校に配属されています。「SCと話しがしたい!」と少しでも希望があれば、まずは各学校にご確認の上、お気軽にご相談下さい。

編集後記

本年最初の号は「骨」のお話からのスタートでした。冬は転倒骨折の多い時期ですので、予防のヒントになれば幸いです。

当院へのご要望やご意見、本誌へのご感想等、QRコードにて是非お寄せ下さい。本年も宜しくお願致します。

